

社会科フィールドワーク通信 Vol.3(2023. 夏)

「戦争と平和」をテーマに、2023年7月、8月にフィールドワークをおこないました。

7月30日(日)、映画『長崎の郵便配達』上映会に参加し、映画を観たあと、被爆者・山田玲子さん(5年生の時に広島で被爆)からお話をうかがいました。映画の内容は、「長崎で被爆した谷口さん(スミテル少年)との出会いを、かつて敵国・イギリスの軍人だったタウンゼント氏が書き記した。35年後、娘のイザベルさんが長崎を訪れ、平和について考えた…」というもので、第40回日本映画復興奨励賞を受賞した作品です。

8月25日(金)には、「見て・聞いて学ぶ、東京大空襲」と題して、都立深川高校にある空襲慰霊碑と東京大空襲戦災資料センターを見学に行き、証言をうかがいました。1945年3月10日未明の東京大空襲で深川高校の230名以上の生徒が亡くなり、宿直や駆け付けた教員も犠牲となりました。学校工場として竹を編んだ軍用機の補助タンクを作っていたため、校内の資材が炎上し、さらに被害が大きくなったとも言われています。今回は、妙久寺にもうかがって、戦災殉難者供養碑や空襲で焼け焦げた墓石も見学しました。

以下、鷲宮から参加した生徒の感想の一部を紹介します。

【映画「長崎の郵便配達」上映会】

◆映画で印象に残っていることは、谷口さんの周りには30体もの死体が転がっているのにも関わらず、「飲み物・食べ物」のこしか考えられなかったということです。まだ幼い子どもが死体になど意識が向かないほど苛酷な状況下で生きていたという事実に改めて驚きました。広島で被爆した山田玲子さんの証言で印象に残っていることは、当時中学生だった山田さん達は、日本が勝つまでは授業なんてしていられなかったということです。すでに歴史の授業で学んでいたことではありますが、実際に被害に遭われた方のお話を聞いて、より実感が湧きました。また、2人の兵隊さんに支えられて帰ってきた父と聞き、とっさに自分の父を思い出しました。誰の血かも分からないほどの出血をしていたとおっしゃっていました。非現実的な話だと思えるくらい今の日本はすごく平和なんだと気付かされました。実際に被害に遭われた方々のお話を聞いて「実際に起きたこと」だと思うには、すごく残酷な事実だと思いました。しかし、目を背けてはいけなと思いました。こうして過去を現代につなげ、継いでくださる方々がいらっしゃるといことは、すごく貴重なことだと思います。だから私たちも未来につなげていく努力をしないといけないと感じました。二度と過去の過ちが繰り返されぬよう、これから伝えていかなければならないと思われました。(1年)

◆YouTubeとかで被爆した方の話とか、状況とか聞いたことはあったけど、本当に体験している人の話を初めて聞いて、生々しいと思った。リアルというか。匂いや、その時のこととか。私は、爆風とか、体験できないけど…。二度と、原爆とかが落とされる国がなくなれば良いと思った。(1年)

【東京大空襲フィールドワーク】

◆普段なかなか感じる事のできない東京大空襲の痕跡や戦時中の様子がうかがえるお話や資料などで貴重な体験をすることができてよかった。また、関わることのない深川高校の生徒とも一緒に学習したことが新鮮に感じた。(1年)

◆東京大空襲をリアルに感じる事ができました。まるでフィクションのようなことが本当にあったのかと思うと、戦争は絶対に起こしてはいけないと思いました。(1年)

◆とても楽しかったです。自分自身、祖母が広島出身ということで広島の大原爆ドームなどを見学する機会がありました。東京大空襲・戦災資料センターでも似たものを見ることができましたが、実際に被災した方のお話を聞くのは初めての経験でした。二瓶さんのお話はどれも衝撃的なものでした。お話に出てくる内容は大方知っていることなのに実際に経験した方から出る言葉だと何か違うもののように感じました。これからの世界に目を向け、核や戦争の知識を蓄えていこうと思いました。(1年)

◆私は、今回のフィールドワークを通して、東京大空襲戦災資料センターの見学・空襲体験者のお話から、今まではあまり知らなかった東京大空襲について詳しく知ることができ、理解を深めることができました。(1年)

◆今回の体験で改めて戦争がどういうものなのか知れました。小学校の頃にも話を聞く機会がありましたが、歴史などを学んだ今、聞くと、少し違う受け取り方ができました。改めて考えるいい機会になったと思います。(1年)

都立深川高校の東京大空襲慰霊碑を見学する前に、両校の生徒で事前学習。炎天下のFWに備えて深川高校同窓会から塩分タブレットなどの差し入れをいただきました。



2023年8月25日
「東京大空襲を知る」



深川高校の敷地内にある「東京大空襲戦災殉難者慰霊碑」を見学しました。深川高校では、死亡した生徒68名、行方不明の生徒は164名にのぼったとうかがいました。



深川高校の同窓会会長・野坂さんも駆けつけて下さいました。このあと、東京大空襲・戦災資料センターに向かいました。



二瓶治代さんの証言をうかがいました。



焼夷弾の模型を手に持つとズシリと重かったです。



その他、戦争で犠牲になった馬たちを弔う馬頭観音や妙久寺の空襲で溶けた墓石などもめぐりました。ご協力くださった深川高校の皆さま、ありがとうございました。